

第2回 火災防護検討会 議事録

1. 日時 平成16年9月14日(火) 13:30~15:00

2. 場所 日本電気協会 4階 D会議室

3. 出席者(敬称略,五十音順)

出席委員:内藤主査(中部電力),荒木(北海道電力),大倉(日立製作所),角谷(三菱重工業),島(北陸電力),長橋(日本原電),増田(中国電力),三原(四国電力)
(8名)

代理出席委員:伊東(東京電力・田中代理),江島(九州電力・笠代理),三島(東芝・納本),山田(東北電力・熊谷代理),吉田(電源開発・河野代理),吉永(関西電力・今井代理) (6名)

事務局:平田

4. 配布資料

資料No.2-1 第1回 火災防護検討会 議事録(案)

資料No.2-2 火災防護指針関連法規等改定来歴

資料No.2-3-1 火災防護指針関連法規改訂内容(その1)

資料No.2-3-2 火災防護指針関連法規改訂内容(その2)

資料No.2-3-3 火災防護指針関連法規改訂内容(その3)

資料No.2-3-4 火災防護指針関連法規改訂内容(その4)

資料No.2-3-5 火災防護指針関連法規改訂内容(その5)

資料No.2-3-6 火災防護指針関連法規改訂内容(その6)

資料No.2-3-7 火災防護指針関連法規改訂内容(その7)

資料No.2-4 電力共通委託予算の計上について(依頼)

資料No.2-5 火災防護検討会活動計画表

参考 原子力規格委員会 安全設計分科会 火災防護検討会委員名簿(案)

5. 議事

(1) 前回議事録確認

事務局より,資料No.2-1に基づき,第1回 火災防護検討会 議事録(案)(事前に配布しコメントを反映済み)の説明があり,原案どおり了承された。

(2) 火災防護検討会活動計画について

内藤主査より,資料No.2-5に基づき,「JEAG4607 原子力発電所の火災防護指針」改定案検討の計画及びそれによる第2回の検討会の議事内容について説明があった。

(3) 国内法規類改定状況の調査報告について

内藤主査より、資料No.2-2に基づき、「JEAG4607-1999原子力発電所の火災防護指針」に関連する法規等の改定来歴の紹介があった。これに引き続き、伊東委員より資料No.2-3-1、吉永委員よりNo.2-3-2、内藤主査よりNo.2-3-3、長橋委員よりNo.2-3-4、三島氏よりNo.2-3-5、大倉委員よりNo.2-3-6、及び角谷委員よりNo.2-3-7に基づき、関連法規等の改定にともない本指針に反映が要か否かをまとめた資料の説明があった。

これに関する意見の大略は以下のとおりであった。

- a) 維持基準の導入による省令62号の改定で、本改定にて必要な事項があるかどうか検討すべき。
- b) 非凝縮性ガスの影響については、火原協で検討されている「BMR非凝縮性ガス蓄積影響評価と対応措置に関する規格（仮称）」を本指針に読み込む形で反映していく。
- c) 今後の具体的な進め方は、今回の調査で要となったものについて、前回の検討会で説明があった「火災防護指針改訂反映検討シート」にて内容を吟味し、そこで「要」となった件名について各社の現状設計を調査していくこととする。

資料No.2-3-1～No.2-3-7については、各委員で内容を精査し、コメントがあれば適宜内藤主査に連絡をすることとした。

(4) 火災防護関連海外技術動向調査について

内藤主査より、事前に送付しコメントを反映した計画書であるとの前置きがあり、資料No.2-4及びNo.2-4 添付資料 - (2)の修正版に基づき、火災防護関連海外技術動向調査についての説明があった。

資料No.2-4についてコメントがあれば、9月24日（金）を目途として、内藤主査に連絡をすることとした。

6. その他

- (1) 新知見について積極的に調査し、反映していきたいとの意見が出された。
- (2) 前回の検討会で説明があった「火災関連不具合事例一覧」について、関連法規類改定調査と同様に件名毎に整理し設計への反映が必要か否か検討することとした。
- (3) 次回の火災防護検討会は、11月中旬で別途調整することとした。

以上